

災害から身を守る

■ 災害時要援護者支援制度

市では、地震や台風などの災害時に、自力避難が困難な人(災害時要援護者)の情報を把握。これを安否確認や避難誘導といった、地域での助け合いに活用していただく「災害時要援護者支援制度」の取組みを広めています。

☎ 健康福祉政策室 ☎ 63-7579
危機管理室 ☎ 63-7271

災害時には、自分の身は自分で守る「自助」と家族や地域で助け合う「共助」が不可欠となります。そこで、市は地域の防災活動を支援する一つの方法として、「災害時要援護者支援制度」の取組みを広めています。

この制度は、災害時に地域ぐるみで自力避難が難しい高齢者や障害者などを支援する仕組みです。

① 市は、対象者に避難支援に携わる地域関係者へ個人情報を提供することの同意を確認 ② 同意した人の名簿を作成し、支援体制の整った地域づくり組織に名簿を提供 ③ 地域関係者は、名簿をもとにお宅を訪問し、個別台帳を作成 ④ 災害発生時には、安否確認や情報提供、避難誘導などを行います。

この制度は、地域の助け合いによって少しでも災害時の被害を減らそうというもので、支援する地域の皆さんが責任を負うものではありません。支援を希望される人も、積極的に地域の人とコミュニケーションをとるよう心がけましょう。



対象者には、2月に申請書を送付 積極的な登録を!

対象となる人 ▼ 身体障害者手帳(肢体1・2級、視覚1・2級、聴覚2級)をお持ちの人

▼ 精神障害者保健福祉手帳(1級)をお持ちの人

▼ 知的障害者で療育手帳Aをお持ちの人

▼ 介護が必要な要介護認定3~5の人

▼ 70歳以上の高齢者のみの世帯

※ 施設、病院などに長期入所・入院している人を除く

◎ 上記対象者以外で、災害時に支援が必要と思われる人も登録できます。詳しくは、健康福祉政策室(☎ 63-7579)または、危機管理室(☎ 63-7271)へご連絡ください。

登録方法

対象者には、2月中旬に災害時要援護者登録申請書(兼個人情報提供の同意書)を送付予定ですので、これを市へ提出してください。

※ 登録申請書は、今年新しく対象となる人と、昨年までに登録の意思表示をしていない人に送付します。一度登録されますと、名張市民である限り有効です。

■ 災害情報の入手方法

災害が発生した場合、被害の拡大を抑えるためには、正しい情報の入手が必要となります。災害情報の入手方法をいま一度ご確認ください。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271



防災ほっとメール 4,000人以上がすでに登録済!

市では、災害発生時の避難勧告や避難指示、避難所開設情報のほか、防犯情報など、市民の皆さんの生命や身体にかかわる緊急情報の伝達手段として、携帯電話の電子メールを活用した「防災ほっとメール」を運用しています。

名張市から災害情報のお知らせ



昨年は、9月30日の台風17号の接近に伴う気象情報や土砂災害危険度情報、市内で発生した強盗事件や詐欺被害などの情報をお知らせし、注意喚起を行いました。

昨年末の時点で、4,133人の市民の皆さんに登録いただいている防災ほっとメール。登録がまだの皆さんは、災害時の備えの一つとして、ぜひ登録してください。

○登録方法

<http://www.anshin-bousai.net/nabari/>に接続するか、右のQRコードを読み込んでください。※通信費用はご負担ください。



○配信される情報

1. 防災情報を配信

地震や風水害などにより、市が災害対策本部を設置した際、避難情報や災害情報を携帯電話などに電子メールでお知らせします。

2. 防犯情報を配信

車上狙いや空き巣、振り込め詐欺など名張警察署管内で多発傾向にある犯罪の情報提供や不審者情報、行方不明者情報などを携帯電話などに電子メールでお知らせします。

3. 防災情報、救急情報を掲載

防災ほっとメールのホームページでは、避難場所が検索できるほか、被害情報、二次救急実施機関などの情報が閲覧できます。

FMなばり(83.5MHz)

市では、災害時に「FMなばり」で避難勧告や避難所の開設状況など重要な情報を提供します。

防災情報が聞けます

放送日時 毎週月曜日 午後零時15分~

また番組内の行政情報コーナーでも、防災、防犯情報を随時お知らせしています。

災害用伝言ダイヤル(171)

災害発生時にはN T Tが「災害用伝言ダイヤル」を開設します。「災害用伝言ダイヤル」は安否などの情報を音声で確認、登録できるサービスです。

「1」「7」「1」をダイヤルし音声ガイダンスにしたがってメッセージを録音、再生することができます。

※毎月1日には体験利用が可能です。防災センター防災体験学習コーナーでも体験できます。

読者の声

広報メールサポーターから...

12-4号掲載「なばりのできごと2012 10大ニュース」について

▼来年はさらに躍進的なニュースを期待したいです。

▼知っていることも、知らないことも、一年の出来事がよく分かった。▼年代別に今年の重大な出来事を考えてみるのも良かったかも。